

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	呉羽 高広
	全体計画		平成28年度	～	平成28年度		経費区分		—		内線	3112
事務事業名	12875 庁舎整備事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費										
	事業	100000 庁舎整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
本庁舎の劣化部分を改修し、安全・安心な環境の維持を図る。						<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度市役所庁舎劣化調査で「危険性があり、短期（3年以内目安）での修繕が必要」と診断されている劣化箇所のうち、優先的な対応が必要と判断される本庁舎屋根、防水シート、ボイラー用煙突の改修を行う。 ・非常用発電設備の自動切替えシステムは、平成10年に導入し19年を経過、故障時の修繕対応が不可となっている。システムの改修を行うことで非常時の自家発電環境を良好に確保することができる。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
事業なし	庁舎エレベータ改修工事の実施
平成29年度 実績	平成30年度 予定
事業なし	非常用発電自動切替システム更新
平成31年度 予定	平成32年度 予定
該当する事業があれば実施	該当する事業があれば実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		0	3,900
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	3,900
人員数(人)	正規職員	0.0	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	2,144.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	2,144.7
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		0.0	6,044.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	3,900	非常用発電自動切替システム更新
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	災害時等の市庁舎機能維持のため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	災害時等の市庁舎機能維持のため必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	庁舎及び設備の老朽化等により費用は増傾向にある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
事業なし

